

3. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社グループは、様々な情報サービスを提供することにより、お客様の価値を高め、豊かな社会を創造することが使命であると考えております。そのために、常に時代の先を読み、市場環境の変化、お客様のニーズ、最新の技術動向に迅速・的確に対応してまいります。こうした考え方のもと、継続的な成長によって安定して利益創出できる企業体質の確立を目指し、経営にあたっております。

(2) 対処すべき課題

情報サービス産業においては、景況感の改善持続が期待される中で企業のIT投資に底入れ感は出始めたものの、全体的にはいまだ投資は抑制傾向にあり、さらに、東日本大震災、及びそれに起因する電力供給の問題等により、今後IT投資が更に抑制されることが懸念されております。

一方、このような厳しい経済環境の中でも、システムの導入や維持・管理等に要する総所有コスト(TCO)削減につながるシステムの共同利用化やクラウドサービス、業界再編に伴うシステム統合ニーズ、グローバルな競争を下支えするためのシステム構築、あるいはビジネスプロセスアウトソーシングなどへの需要は維持されていくものと見られます。特に、グローバル競争下にあるお客様は、この環境変化の中においてこそ、グローバルな競争優位を保ち続けるためにITによる変革をより一層必要とされています。

お客様へのサービス提供価格に関しては、ハードベンダの参入などによる競争激化、インドや中国などを活用したオフショア開発の一般化、ダウンサイ징の進展、技術革新などの影響による長期的な低下傾向に加え、お客様の低価格志向がさらに強まっております。また、サービス提供にかかる期間についても、激変する環境の中で迅速に効果を得られるように、より一層の短縮が求められております。

さらに、企業の果たすべき社会的責任に関しては、環境問題や震災復興支援を始めとして社会的要請が多様化・高度化しつつあり、ITサービス業界においても、その要請に応えていくことがこれまで以上に求められつつあります。

・サービス提供能力の強化

当社グループのトータルパワーを高め、お客様のグローバル競争を確実に支えていくためのグローバル競争力の強化、変化に迅速に対応していくためのサービス提供能力の強化に注力いたします。

・グループ事業の拡大・強化

グループ全体の持続的・安定的な経営を実現する事業規模の確保を図ります。

・環境志向経営の推進

自らが社会的要請に応えていくことに加え、お客様の環境への取組についても、ITサービスの視点からその要請に応えていくよう努めます。

当期における当社元社員による贈賄事件を厳粛に受け止め、当社グループは社内外に対し、「コンプライアンス宣言」を行いました。企業倫理確立並びに再発防止のための社内体制や仕組の見直しに注力し、全社一丸となって早期の信頼回復に努めてまいります。

【コンプライアンス宣言】

私たちは、

- ・ 企業としての社会的責任を自覚し、公正透明な事業活動を行います。
- ・ 法令・契約・社内規程を遵守することはもとより、社会的良識に基づいた行動を実践します。
- ・ お客様と、節度ある行動に基づく信頼関係を構築し、お客様とともに豊かな社会の実現を目指します。

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

代表取締役社長

山下 徹

(3) 中長期的な会社の経営戦略

平成22年3月期決算短信（平成22年5月11日開示）により開示を行った内容から変更がないため、開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.nttdata.co.jp/corporate/ir/index.html>

(東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ）)

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

(4) 目標とする経営指標

当社グループは、グローバル環境下で、お客様に最高のサービスを提供できる規模への成長を目指します。

平成25年3月期において売上高1兆5,000億円を目指しつつ、事業の継続性と革新（イノベーション）を維持できる利益の確保にむけ事業を推進してまいりましたが、厳しさを増す国内のIT投資環境に加え、東日本大震災による事業への影響等を踏まえ、中期経営目標の見直しを検討しております。